

目的

豊中駅周辺再整備構想(以下、「構想」という。)の実現に向け、駅周辺のまちづくりの課題を解決し、まちの価値向上を図るために今後取り組むべき方向性を示したものです。この取り組みを進めることで、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」と「新たなつながり・コミュニティ」の形成の実現を目指します。

まちづくりの方針

まちづくりの取組方針

- 道路空間の再編による歩行者空間の充実と賑わいの創出
- 再開発や共同化による街区内の防災性能や快適性の向上
- 建築物等の誘導による歩行空間やゆとり空間の充実
- 賑わい創出に向けたソフト施策の推進とまちづくり活動の支援

優先的に取り組む施策

公共施設整備による「銀座通り・一番街」を中心とした歩行者空間の拡充と賑わいづくりに向けた道路空間の有効利用

構想の優先的な取組項目

- ① 銀座通りの道路空間の再編整備と空間活用方策の検討
- ② 一番街の道路空間の再編整備と空間活用方策の検討
- ③ 豊中亀岡線と東豊中線の交差点部分の改良
- ④ まちづくりに向けた地域の取組支援

これまでの検討内容(令和3年度から令和7年度)

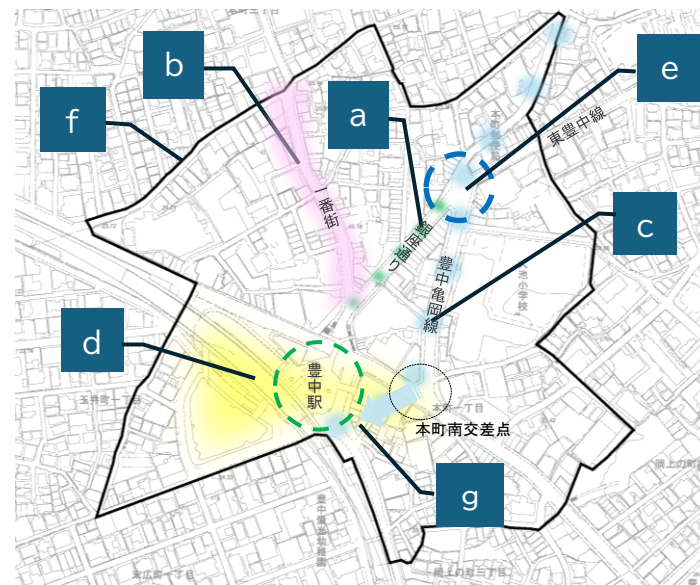
優先的な取組項目	これまでの検討内容	まとめ
【取組項目①②】 銀座通り・一番街	<p>現行の道路構成における幅員の再配分は困難(道路構造令制限)</p> <p>交通負荷の軽減を検討(交通量調査・本町南交差点改良の検討)</p> <p>交通負荷の軽減は見込めず(本町南交差点改良のみでは効果が薄い)</p> <p>交通動線の再編が必要 (複雑な駅前交差点の簡素化や周囲の道路ネットワークの円滑化等)</p> <p>事業者等へのヒアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間口が狭い等の理由で、建替え等が満足にできない状況にある。共同化なども含めて考えていかないと変わらない。 ・食事や買い物をはじめ、立ち寄ってみたいくなる、生活していく楽しみを得られる場所が求められている。 ・豊中駅周辺では近年住宅の供給実績がなく、住宅需要は高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民連携による交通動線の再編、駅前としての賑わい機能導入の実現 ・現行の道路構成における快適な歩行空間の検討 ・関係者等と豊中駅周辺のあり方の検討などを推進 ・交通動線の再編に向けた周辺街区等の面的整備などの整備手法の検討 ・駅周辺の車両交通の軽減や面的整備等により創出される空間への駅周辺として望ましい導入機能の検討(道路の有効幅員の拡幅とその空間と沿道施設の賑わいの創出などを含む)
【取組項目③】 豊中亀岡線と東豊中線の交差点部分	<ul style="list-style-type: none"> ・交差点部分の改良と歩道整備を進めるため、大阪府と連携して用地買収を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共整備の推進 ・継続的な地権者協議による交差点部分の整備促進
【取組項目④】 地域の取組支援	<ul style="list-style-type: none"> ・人工デッキの活用など、他団体等と連携して取組みを開始した。 ・まちの将来像を共有するビジョンと持続的なまちづくりを実施する「とよなかベース」の組織運営を開始した。 <p>事業者等へのヒアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアマネジメントとして成立させるには、民間と行政との連携やイベントができる広場が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 主体的・自立的な組織運営に向けた取組みの実施 ・現在の取組みを通じた公民連携のエリアマネジメントの構築

目指す将来像と実現するための取組

優先的な取組項目について、目指す将来像を設定し、実現に向けた取組を定めました。

優先的な取組項目	方向性	実現に向けた取組	目指す将来像
【取組項目①②】 銀座通り・一番街	1-1 現行の道路構成における通行空間の整備	[a] ピクトグラムの整備など自転車通行空間の整備方法を検討し、歩行者・自転車の安全性の向上につなげます。	● 快適な歩行空間の実現による歩行者・自転車の安全性の向上
	1-2 道路空間拡幅のためのセットバックや低層階への賑わい施設の誘導	[b] 建築物の建替時にセットバックや低層階への賑わい施設誘導のルール化を検討します。	● 沿道建物の更新に併せた賑わい施設の誘導策を構築して滞在性・回遊性の向上
	1-3 面的整備による複雑な駅前交差点の簡素化	[c] 円滑な動線の確保、交通負荷の軽減に向け、駅前の交差点形状の再編を目指します。 [d] 駅周辺の効果的な一体活用を目指します	● 銀座通り・一番街の車両交通負荷の軽減
【取組項目③】 豊中亀岡線と東豊中線の交差部分	2-1 豊中亀岡線の歩道整備及び交差点改良	[e] スクランプル交差点を改良し、歩行者のたまり空間及び歩道を整備するとともに、車両の流動性向上による渋滞の改善につなげます。	● 歩行者の安全性の向上及び車両の流動性の向上による交通渋滞の改善
【取組項目④】 地域の取組支援	3-1 「とよなかベース」の活動と道路などパブリックスペースの活用による賑わい創出	[f] 「とよなかベース」の活動によりまちの個性を創出します。 [g] 既存空間の活用方法を検討し、構想の実現により創出されるパブリックスペースを地域とともに育てます。	● エリアマネジメントによる市民と行政等が連携したまちづくりによるまちの個性の創出

取組のイメージ



目標スケジュール(予定)

方向性	令和7年度から令和10年度【フェーズ2】	令和11年度以降【フェーズ3】
1-1 現行の道路構成における通行空間の整備	[a] 通行空間の整備	
1-2 道路空間拡幅のためのセットバックや低層階への賑わい施設の誘導	制度設計 [b] 建替時のルール化の検討	基本計画策定
1-3 面的整備による複雑な駅前交差点の簡素化	地権者協議	[c] 交通動線の再構築 [d] 一体的活用
2-1 豊中亀岡線の歩道整備及び交差点改良	地権者協議	[e] 交差点改良・歩道整備
3-1 「とよなかベース」の活動と道路などパブリックスペースの活用による賑わい創出	[f] 「とよなかベース」の活動	[g] パブリックスペースの活用